

ほげんだより

令和3年9月3日
鹿児島工業高校保健室

今回は、マスクについての臨時号です。コロナ予防でマスク着用は必須です！正しくマスクを着用して感染リスクを抑えましょう。

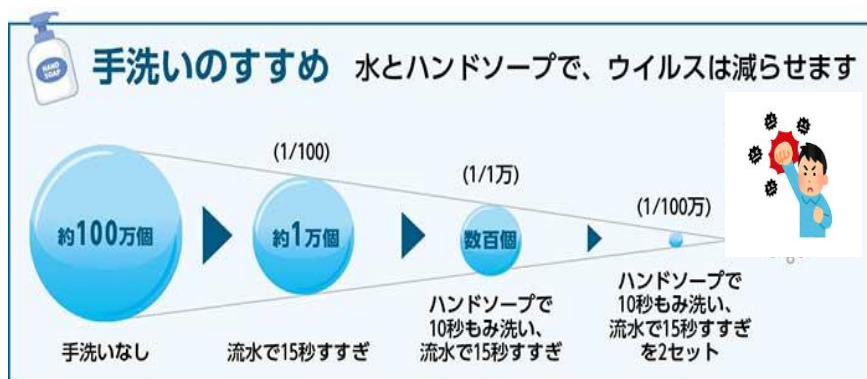
理化学研究所によるスーパーコンピューター「富岳」を使ったシミュレーション結果により、布やウレタンで作られたマスクに比べて、**不織布マスクの方が飛沫の飛散を抑える効果が高い**傾向があることが分かりました。また、マスク着用する際は飛沫が飛ばないように、鼻から顎まで確実に覆い、隙間がないよう着用してください。**デルタ株の感染力は強く感染拡大が心配されます。「感染しない、感染させない」ことを意識して、感染予防をさらに強化しましょう。**

マスクやフェースシールドの効果

対策方法					
	不織布	布マスク	ウレタン	フェースシールド	マウスガード
吐き出し 飛沫量	80% カット	66～82% カット	50% カット	20% カット	10% カット
吸い込み 飛沫量	70% カット	35～45% カット	30～40% カット	小さい飛沫に対して 効果なし (エアロゾルは防げない)	

(理化学研究所、豊橋技術科学大、神戸大のシミュレーションに基づき作成)

病院等では、感染防止のために不織布マスクの着用を推奨しています。
不織布マスクはウイルスの飛散を抑止する効果が高いと言われています。



「できていますか？」

感染予防の基本は「石けんでの手洗い」です。

手洗いのタイミング

各教室への出入り、実習後、外出から帰宅後、トイレ後、食事の前後、清掃・消毒作業後など